

レポートの書き方向上のための講習会 実施報告

深野 政之（大学教育研究開発センター）

附属図書館と大学教育研究開発センターの共催により、学修支援活動の一環として、レポートの書き方向上のための講習会を開催した。今年度は、昼休み時間を活用し、1・2年学生にとって身近な東キャンパスの教室を使ったこともあって、例年より多くの参加者を得ることができた。以下、夏学期に実施した事業の概要を報告する。

1. 実施概要

学部1・2年生を主な対象として、A) レポート作成の基本的・実践的なノウハウを学習してもらう「レポートの書き方講習会」と、B) 情報・資料の収集方法を学び図書館の利用やデータベースに関する知識も深めてもらう「図書館所蔵資料の探し方、雑誌論文の探し方講習会」を、それぞれ実施した。

A) レポートの書き方講習会

大教センター講師と附属図書館専門助手が、レポートの構成や先行研究の引用方法など、レポートを書く上での基本的事項を説明した。

B) 図書館所蔵資料の探し方、雑誌論文の探し方講習会

附属図書館レファレンス主担当職員が、図書館所蔵資料・雑誌記事の検索と入手の方法を説明した。

レポートの書き方向上のための講習会 実施概要と参加者数

日時	場所	内容	講師	参加者数
7月9日（月）12:10-12:50	東1207室	A	杉田（専門助手）	13
7月10日（火）12:10-12:50		B	菅原（レファレンス主担当）	6
7月11日（水）12:10-12:50		A	福田（専門助手）	22
7月12日（木）12:10-12:50		B	白本（レファレンス主担当）	12
7月13日（金）12:10-12:50		A	深野（大教センター講師）	17
計				70名

2. 参加者の反応

内容の評価	割合
まあまあ役に立った	33.4%
役に立った	43.8%
とても役に立った	23%

開催時期の評価	割合
6月上旬	45.9%
6月下旬	27%
7月上旬	27%

参加者アンケート自由記述より

- ・講師が模範となるレポートを示し、それに沿って説明してくれれば分かりやすかった
- ・こうした講習会が必要なタイミングは人によって異なるため、いつでも資料を閲覧できたり、ガイダンスの内容を見れると良い

3. 今後の展望

- ・レポートの書き方に関する講義に加え、個別の具体的な相談の時間を設ける
- ・冬学期は中間・試験期に開催する
- ・インターネットを使ったガイダンスや資料の配信を行う



「レポートの書き方」 講習会 week 2012

DATE 7/9 ~ 7/13

7/9 ~ 7/13 予約不要!

- 1 レポートの書き方の基本教えます (40分)**
テーマ設定やレポートの構成、先行研究の引用方法など、レポートを書く上での基本を説明します。
 7月 9日 (月) 杉 岳志 専門助手
(附属図書館/日本近世史・文化史)
 7月11日 (水) 福田 名津子 専門助手
(附属図書館/社会思想史・経済思想史)
 7月13日 (金) 深野 政之 講師
(大学教育研究開発センター)
- 2 レポートのための資料を探そう (40分)**
レポートを書く際は、先行研究の把握と参照が欠かせません。今回は図書館所蔵資料・雑誌記事の検索と入手方法を教えます。
 7月10日 (火)、7月12日 (木) *1の開催がない日

期間中毎日 12:10 ~ 12:50
会場: 東1号館 1207教室

問合せ: 附属図書館ヘルプデスク (レファレンス主担当) 042-580-8239

 一橋大学附属図書館
 一橋大学 大学教育研究開発センター